

越後三山只見国定公園
(福島県地域)

指定書

令和3年10月29日

環 境 省

目 次

1	指定理由	1
2	地域の概要	2
	(1) 景観の特性	2
	ア 地形、地質	2
	イ 植生	2
	ウ 野生動植物	3
	エ 自然現象	4
	オ 文化景観	4
	(2) 利用の特性	4
	(3) 社会経済的背景	5
	ア 土地所有別	5
	イ 人口及び産業	5
	ウ 権利制限関係	6
3	公園区域	9

1 越後三山只見国定公園の指定理由

① 景観

本公園は、新潟、福島両県にまたがり、越後山脈の南部山稜及びその山麓部とこれに接続する三国山脈の一部、福島県会津地方の阿賀川・只見川周辺からなる地域である。越後山脈南部及び三国山脈の一部には人為による影響をほとんど受けていないミヤマナラ等の亜高山帯低木林やブナなどの自然林が保存され、カモシカ、ツキノワグマ等の大型哺乳類、イヌワシやクマタカなどの希少な猛禽類等の生息地となっている。また、本地域は国内でも有数の豪雪地域であり、急峻な山岳において雪食地形などの世界的にも珍しい独特の自然景観が広がっている。只見川周辺には積雪地特有の構えを持つ家屋群と只見川の流れが一体となって、自然景観の中に自然と共生した地域の暮らしが溶け込み、独特な里山景観や幻想的な風景が作りだされているほか、阿賀川周辺には銚子の口等の河川の作用でつくられた勇壮な景勝地がみられる。

以上のように、本地域は、広大なブナ等の自然林に希少な生物が生息する傑出した自然林生態系、豪雪が作りだした雪食地形等の特異な自然景観に加えて、只見川や阿賀川の河川景観が複合的かつ一体となった景観を風景型式とした我が国を代表する地域となっている。

② 規模（区域面積が原則として1万ha以上）

本国定公園の区域面積は、102,895ha（陸域）である。

<参考：新潟県地域 52,464ha、福島県地域 50,431ha>

③ 自然性（原生的な景観核心地域が原則として約1,000ha以上）

本国定公園の原生的な景観核心地域は、新潟県地域では越後三山（駒ヶ岳、中の岳、八海山）や守門岳、平が岳、田代平等一帯と、福島県地域では浅草岳及び朝日岳、田子倉湖一帯、沼沢湖の惣山周辺等であり、その区域面積は43,929haである（特別保護地区及び第1種特別地域）。

<参考：新潟県地域 20,028ha、福島県地域 23,901ha

そのうち、福島県地域の特別保護地区：11,011ha、第1種特別地域：12,890ha>

④ 利用状況（大人数による利用が可能）

越後三山や浅草岳及び朝日岳、蒲生岳等の登山利用、旧街道等を利用したトレッキング、磐越西線や只見線、自動車等各種交通手段を利用した公園内の多様な景観資源を巡る周遊利用、鉄道と只見川、多雪地特有の家屋等が作り出す景観の撮影地巡り、只見川ライン下りや田子倉湖における周遊船運航等の多数の利用形態が存在し、公園全体として高い利用性を有している。

⑤ 地域社会の共存（地域社会の理解の獲得）

これまでに地域説明会の開催や、関係市町村の同意を得るなど、地元合意が図られている。また、地元自治体をはじめ関係者の間では、一部区間が不通となっている只見線の全線再開を契機に利用者数の増加などが見込まれることから、本地域の保護と適正な利用の推進について議論されている。

以上を踏まえ、「国立公園及び国定公園の候補地の選定及び指定要領（平成25年5月17日付け環自国発第1305171号 環境省自然環境局長通知）」に記載される要件を満たすことから、本地域を

国定公園に指定する。

2 越後三山只見国定公園福島県地域の概要

越後三山只見国定公園（福島県地域）は福島県会津地方の西半分の阿賀川流域・只見川とその上流の越後山脈、これに接する三国山脈の一部からなる。只見川周辺には積雪地特有の構えを持つ家屋群と只見川の流れが一体となって、自然景観の中に自然と共生した地域の暮らしが溶け込み、独特な里山景観や幻想的な風景が作りだされている。また、阿賀川周辺には銚子の口等の河川的作用でつくられた勇壮な景勝地がみられる。この阿賀川及び只見川沿いにはそれぞれ磐越西線と只見線が走り、地域の観光における重要な移動手段であるほか、その走行景観も重要な景観資源となっている。

(1) 景観の特性

ア 地形、地質

越後山脈等の急峻な山々に囲まれ、阿賀川、只見川とその支流群によって、V字谷を形成している。只見川流域は河岸段丘がみられるが、そのうちの三島町付近の段丘は、沼沢火山の火山噴出物によって埋められた谷が、再度、只見川の侵食によってできた珍しい地形である。只見川の中流付近には、5400年前の噴火で形成された沼沢カルデラ、さらに古い時代の噴火によって形成された砂子原カルデラ跡がある。この沼沢火山の火口跡は沼沢湖となっている。一方、多雪地であり、かつ急峻な地形であることから、頻繁に雪崩が起きるアバランチシュートと呼ばれる雪食地形が広範囲に分布する。このような急峻な地形は、只見町内にある会津のマッターホルンとも呼ばれる蒲生岳でも見られる。

両河川の流域には甌穴群があり、特に滝沢甌穴群は東北地方最大の規模を有する。阿賀川には還流丘陵がみられる他、銚子の口と呼ばれる狭窄部が存在し、付近の地形が銚子のくびれに似ていることからこの名があり、四季を通じて景勝地となっている。

地質は、沼沢湖周辺や柳津町に流紋岩大規模火砕流がみられる他は、おおむね安山岩等の火成岩からなる。

イ 植生

只見川の流域には、ブナを含む自然林が広範囲に広がる。本公園の東側に位置する阿賀川流域より雪が多く、アバランチシュートが卓越して見られることが特徴で、尾根にキタゴヨウが見られ、山腹の安定した場所にはブナ林が成立している。一方で、雪崩が頻発する場所には、低樹高の落葉広葉樹が優占する。比較的広い河原の一部にはヤナギ類の河畔林が成立し、只見川及びその支流の伊南川等にはユビソヤナギの群落が存在する。この地域のユビソヤナギの群落は、国内でも最大級のものとなっている。その他の場所では、河岸と山とが接しており、カエデ等の落葉広葉樹林が分布する。このような植生の分布形態は、本地域が四季を通じて美しい景観を形成する要因ともなっている。

阿賀川の流域である本公園の東側は、尾根沿いにアカマツが見られ、その山腹には、落葉広葉樹二次林やスギ植林地が分布する。河岸まで耕地があるか山腹であるため、河畔林はあまり発達していない。

ウ 野生動植物

①動物

i) 哺乳類

本地域及びその周辺では、15科53種が確認されている。そのうち、カモシカが特別天然記念物、ヤマネが天然記念物、クロホオヒゲコウモリが環境省レッドリスト、ウサギコウモリがふくしまレッドリストで絶滅危惧種に掲載されている。

ii) 鳥類

本地域及びその周辺では、49科178種が確認されている。そのうち、イヌワシが天然記念物、クマタカ等13種が環境省レッドリスト、オオタカ等20種がふくしまレッドリストで絶滅危惧種に掲載されている。特に、生態系の上位種である猛禽類（タカ科、ハヤブサ科、フクロウ科の鳥類）が20種確認されており、本地域の自然環境の質的高さを反映している。また、イヌワシ、クマタカの国内有数の生息地でもある。

iii) 爬虫類・両生類

本地域及びその周辺では、爬虫類は7科12種、両生類は7科18種が確認されている。そのうち、トウホクサンショウウオ等7種が環境省レッドリスト、13種がふくしまレッドリストで準絶滅危惧種に掲載されている。タダミハコネサンショウウオは2014年に新種として発見され、只見町を中心とした地域でのみ生息が確認されている地域固有種である。また本地域には、陸棲であるタダミハコネサンショウウオの他にも止水域に生息するクロサンショウウオも生息する珍しい地域となっている。

iv) 昆虫類

本地域及びその周辺では、201科961種が確認されている。タンスや下駄などの高級品の材料として利用されているキリを宿主とするキマダラルリツバメは、喜多方市、三島町、金山町指定の天然記念物となっている。本地域は、雪深い夏は高温となる気象条件や急峻な山々が連なる地理的条件等を反映し、環境省レッドリストで絶滅危惧種に掲載されているキタヒメアメンボやキイロマツモムシ等の北方や高山帯に生息する種が見られる一方で、低標高帯に生息するゲンゴロウ等も見ることができる地域である。このほか、喜多方市及び西会津町が指定する天然記念物でもあるギフチョウ等4種が環境省レッドリストに掲載され、このうちヒメギフチョウがふくしまレッドリストの準絶滅危惧種に掲載されている。

v) 魚類

本地域及びその周辺では、17科62種が確認されている。そのうち、イトヨはトゲチョとも呼ばれる小型の魚類で、喜多方市ではその生息地が天然記念物に指定されているほか、環境省レッドリストでは絶滅のおそれのある個体群に掲載され、ふくしまレッドリストでは絶滅危惧種に掲載されている。また、ウケクチウグイは、秋田県から長野県の日本海側にそそぐ河川にのみ生息する種であり、只見川で最初に発見された種である。このほか、12種が環境省レッドリストに掲載され、10種がふくしまレッドリストに掲載されている。

②植物

本地域及びその周辺では、160科 1436種が確認されている。そのうち、ヒメサユリは地域固有種であるが、本地域の広い範囲に分布している。また、只見町蒲生地区にはカタクリの群生地があり、地域住民によって、カタクリ公園として手厚く管理されている。環境省レッドリスト及びふくしまレッドリストの掲載種は非常に多く、そのいずれかで絶滅危惧種に掲載されている種は、90種以上である。

エ 自然現象

本地域は基本的には冬季に多量の積雪がある日本海側の気候である。特徴的なのは、地形的に盆地となっていることから、夏季は高温となる内陸性気候の特徴も併せ持つことである。公園の北側の西会津町では冬季の平均最深積雪深は、1m程度であるのに対し、只見町では2mを超える。

只見川には数多くのダムがあるため、その流速は遅い。そこに、温度の低い上流の融雪水が流れ込むため、河川水も温度は低く保たれている。夏季には、この水面に温かい空気が接触することにより川霧が発生し、年間30日程度しか発生しないといわれている希少な自然現象となっている。

また、大塩炭酸泉と滝沢炭酸泉の2つの炭酸泉源が存在している。高温の水に高濃度の炭酸ガスが含まれることは稀であり、火山の多い我が国においては貴重な存在である。

オ 文化景観

多雪地域であることから、雪によって家屋が倒壊するのを防ぐため、屋根の先端がとがった形となっている。また、使役する家畜の厩を家屋に併設する様式が多くみられ、その併設位置によって「一方家（イッポーヤ）」、「曲がり家」などとよばれている。現在では、その屋根は茅葺ではなくなっているが、これらの家屋は、大志の俯瞰などで河川とともに、美しい景観を形成している。

また、本地域の河川は交通路でもあったことから、多数の廻船や渡し舟がみられた。現在では、観光渡し船などの旅客船として、只見川においてその姿を見ることができる。

(2) 利用の特性

本地域の利用特性として、越後三山や浅草岳及び朝日岳、蒲生岳等の登山利用、旧街道等を利用したトレッキング、磐越西線や只見線、自動車等各種交通手段国道を利用した公園内の多様な景観資源を巡る周遊利用、鉄道と只見川、多雪地特有の家屋等が作り出す景観の撮影地巡り、只見川ライン下りや田子倉湖における周遊船運航等の多様な利用形態があげられる。

公園への交通手段は陸路のみであり、自家用車による来訪が2/3を占めている。次いで、貸し切りバス、新幹線となっている。最寄りの新幹線の停車駅は、上越新幹線の越後湯沢、浦佐、新潟の各駅と、東北新幹線の郡山駅となっている。いずれも、只見線や磐越西線を介さないで本公園内には達しない。公園内の公共交通は、磐越西線と只見線(不通区間の代行バスを含む)だけであり、路線バスについては、ほとんどがそれぞれの自治体内だけの運行となっている。そのほか、小規模ではあるが、タクシー、レンタカー及びレンタサイクルがある。

磐越西線と只見線は、車窓景観や走行景観を目的に多数の観光客が訪れる。磐越西線には定期的にSL列車が走り、只見線では只見川の橋梁を走行する景観を眺望するための施設やスポットが沿線各地にあるなど、いずれの路線も四季を通じてにぎわいを見せている。また、その景観は東南アジア諸国をはじめとした海外でも高い評価を受けており、東日本大震災直後は一時的な利用者の減少が見られたものの、再び増加傾向にある。

(3) 社会経済的背景

ア 土地所有別

本区域は、公園区域 50,431ha（陸域）のうち、国有地 35,533ha、公有地 1,301ha、私有地 13,597ha であり、国有地の本区域全体に占める割合が大きい。

イ 人口及び産業

本地域における各市町村の人口の合計は、平成 27 年の国勢調査結果によると、86,062 人である。喜多方市は 49,377 人、檜枝岐村は 615 人、只見町は 4,470 人、西会津町は 6,582 人、会津坂下町は 16,303 人、柳津町は 3,536 人、三島町は 1,668 人、金山町は 2,189 人となっている。年齢構成は 14 歳以下の人口が 9,223 人(10.9%)、15 歳以上 64 歳未満の人口が 43,859 人(51.8%)、65 歳以上の人口が 30,496 人(36.0%)となっている。人口推移は、いずれの市町村でも減少傾向にある。

産業別の就業者人口は、第一次産業は 5,759 人(13.9%)、第二次産業は 12,324 人(29.8%)、第三次産業は 22,970 人(55.5%)となっている。第一次産業では農業(13.5%)、第二次産業では製造業(19.9%)、第三次産業では卸売・小売業(13.0%)が多い。福島県全体の農業の就業者人口比が 6.1%であることから、本地域及びその周辺での農業は主要な産業といえる。

農業は、本地域内の地形が急峻であることから耕地は少ないが、米やソバ、キノコ類、トマト等、生産品は地域によって特色がある。また、就業者人口はごく少数であるが、キリの材の生産地としても有名である。このほか、農閑期の産業として発達したタンスや下駄などのキリ製品、つる植物を編んだ「編み組み細工」、漆器などの工芸品の生産も有名である。

ウ 権利制限関係

(ア)保安林

(国有林)

種 類	位 置	重複面積 (ha)	指定年月日
水源かん養	福島県南会津郡檜枝岐村地内	8,910.35	昭 37.3.15
	福島県南会津郡只見町地内	13,540.59	昭 45.3.31
	福島県大沼郡金山町地内	1,104.69	昭 46.3.29
			昭 49.4.11
			昭 58.7.25
			平 5.11.24
			平 12.8.11
		平 15.12.25	
		平 19.4.24	
土砂流出防備	福島県南会津郡只見町地内	10,324.48	昭 36.8.10
	福島県大沼郡金山町地内	1,166.56	昭 37.3.15
			昭 49.4.11
			昭 58.5.2
			昭 58.5.10
			昭 58.7.25
			平 7.2.9
		平 22.7.12	
土砂崩壊防備	福島県大沼郡金山町地内	42.69	昭 58.7.25
			平 7.2.9
干害防備	福島県大沼郡金山町地内	6.79	昭 36.8.10
なだれ防止	福島県大沼郡金山町地内	6.33	昭 13.8.24
保健	福島県大沼郡金山町地内	113.94	昭 58.7.25

(民有林)

種 類	位 置	重複面積 (ha)	指定年月日
水源かん養	福島県南会津郡只見町地内	213.72	昭 29.10.23 他
	福島県耶麻郡西会津町地内	0.02	昭 57.2.15
	福島県河沼郡柳津町地内	0.12	昭 43.10.19
	福島県大沼郡三島町地内	0.09	昭 31.1.12
	福島県大沼郡金山町地内	330.39	昭 46.3.29 他
土砂流出防備	福島県喜多方市地内	1.96	昭 12.5.15 他
	福島県南会津郡只見町地内	75.35	大 2.2.5 他
	福島県耶麻郡西会津町地内	0.003	昭 56.10.12
	福島県河沼郡会津坂下町地内	0.75	昭 16.3.15 他
	福島県河沼郡柳津町地内	10.28	大 11.4.13 他

	福島県大沼郡三島町地内	4.06	平 2.7.16 他
	福島県大沼郡金山町地内	598.11	大 5.4.17 他
土砂崩壊防備	福島県喜多方市地内	0.01	不明
	福島県耶麻郡西会津町地内	0.23	不明
	福島県河沼郡柳津町地内	1.40	昭 41.12.28 他
	福島県大沼郡三島町地内	0.19	昭 41.5.30 他
	福島県大沼郡金山町地内	24.34	大 11.4.13 他
なだれ防止	福島県南会津郡只見町地内	75.22	昭 9.5.19 他
	福島県耶麻郡西会津町地内	3.17	昭 57.2.15
	福島県河沼郡柳津町地内	5.72	大 5.4.17 他
	福島県大沼郡三島町地内	3.48	大 5.4.17 他
	福島県大沼郡金山町地内	104.70	昭 12.5.15 他
落石防止	福島県大沼郡金山町地内	0.97	昭 57.7.23

(イ)鳥獣保護区 (県指定)

名 称	位 置	重複面積 (ha)	指定年月日
高郷	福島県喜多方市高郷町塩坪古屋敷	86	昭 46.10.31
阿賀川	福島県耶麻郡西会津町新郷大字豊洲	60	昭 46.10.31
舟渡	福島県河沼郡会津坂下町高寺大字舟渡	11	昭 46.10.31
柳津	福島県河沼郡柳津町大字柳津	231	昭 47.10.31
沼沢湖	福島県大沼郡金山町大字大栗山	379	昭 34.10.31
黒谷	福島県南会津郡只見町地内	35	昭 52.4.1
只見	福島県南会津郡只見町地内	15,817 (うち特保 6,090)	昭 55.1.1
奥只見	福島県南会津郡只見町地内、檜枝岐村地内	9,431	平 9.11.1

(ウ) 史跡名勝天然記念物

区分		名称	位置	指定年月日
国	特別天然記念物	カモシカ	地域を定めず指定	昭 30. 2. 15
国	天然記念物	ヤマネ	地域を定めず指定	昭 50. 6. 26
国	天然記念物	イヌワシ	地域を定めず指定	昭 40. 5. 12
国	天然記念物	柳津ウグイ生息地	福島県河沼郡柳津町柳津字諏訪町	昭 15. 7. 12.
市	天然記念物	塩坪化石層	福島県喜多方市 東北電力(株)	平 18. 1. 4
市	天然記念物	ギフチョウ	福島県喜多方市 全域	令 2. 3. 4
市	天然記念物	キマダラルリツバメ	福島県喜多方市 全域	令 2. 3. 4
町	天然記念物	石伏旧若宮八幡神社の大クリ	福島県南会津郡只見町石伏	平 14. 4. 23
町	天然記念物	ギフチョウ	福島県耶麻郡西会津町全域	平 27. 4. 16
町	天然記念物	キマダラルリツバメ	福島県耶麻郡西会津町全域	平 27. 4. 16
町	史跡	玉縄城跡	福島県大沼郡金山町大字川口字上岩下	昭 48. 3. 1
町	史跡	糠塚古墳	福島県大沼郡金山町大字大志字糠塚	昭 49. 7. 1
町	史跡	石原経塚	福島県大沼郡金山町大字大栗山字上石原	昭 52. 7. 1
町	史跡	宮崎館跡	福島県大沼郡金山町大字中川字館ノ越	昭 62. 3. 30
町	史跡	高祖沼沢府君之碑	福島県大沼郡山町大字沼沢字寺ノ北	昭 57. 10. 10
町	史跡	太郎布駒形ノ館跡	福島県大沼郡金山町大字太郎布字沢田	昭 61. 6. 10
町	史跡	廻戸の一里塚	福島県大沼郡金山町大字沼沢字廻戸	昭 61. 6. 10
町	史跡	高屋敷中井館跡	福島県大沼郡金山町大字玉梨字高屋敷	昭 63. 12. 10
町	史跡	山ノ内屋敷跡	福島県大沼郡金山町大字横田字居平	平 18. 3. 27
町	天然記念物	キマダラルリツバメ	福島県大沼郡金山町全域	平 17. 6. 9

3 公園区域

越後三山只見国定公園(福島県地域)の区域を、次のとおりとする。

(表1: 公園区域(陸域)表)

都道府県名	区域	面積 (ha)
福島県	喜多方市 高郷町の一部	361
	南会津郡檜枝岐村内 国有林会津森林管理署南会津支署 1109 林班及び 1110 林班の各一部 南会津郡檜枝岐村 見通の一部	9,395
	南会津郡只見町内 国有林会津森林管理署南会津支署 1111 林班から 1116 林班、1120 林班から 1123 林班まで及び 1134 林班の全部並びに 1117 林班、1118 林班、1124 林班、1133 林班及び 1135 林班から 1138 林班までの各一部 南会津郡只見町 塩沢、蒲生、叶津、只見、石伏及び田子倉の各一部	28,495
	耶麻郡西会津町 群岡、上野尻及び登世島の各一部	698
	河沼郡会津坂下町 高寺、片門の各一部	124
	河沼郡柳津町の一部 柳津、郷戸、飯谷、藤及び細八の各一部	1,086
	大沼郡三島町の一部 桧原、名入、川井、大登、宮下及び早戸の各一部	837
	大沼郡金山町内 国有林会津森林管理署 547 林班から 548 林班まで、550 林班から 552 林班まで、555 林班から 556 林班まで及び 646 林班から 647 林班までの全部並びに 549 林班、553 林班、557 林班、608 林班から 610 林班まで、645 林班及び 648 林班の各一部 金山官行造林地 1 林班の全部 大沼郡金山町 大栗山、小栗山、川口、大志、太郎布、中川、沼沢、水沼、玉梨、横田、大塩及び滝沢の各一部	9,435
	合 計	50,431

